

# みすずかる

第18号

春の柳沢遺跡

【トピックス】

やなぎさわ

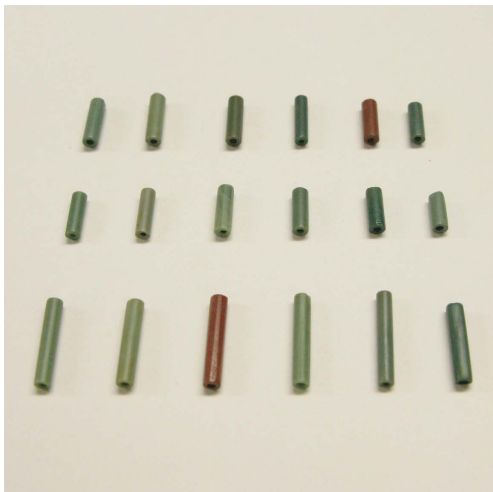
- 中野市 -

柳沢遺跡



県内最大級の礫床木棺墓

管玉の出土も県内最多



大型礫床木棺墓で見つかった管玉

柳沢遺跡では、礫床木棺墓（れきしょうもっかんぼ）と呼ばれる、長野県に特徴的な墓が20基発見されました。礫床木棺墓は、長方形に掘った穴の底に小石を敷き、四方に板を埋め込んで遺体を囲う木棺を作り、土を盛って埋葬する墓と考えられています。

大型の1号墓は、まわりの墓とは違う構造で、長さ1.4m、幅0.6mの木棺の外側を、大きめの石で長さ2.5mの方形に取り囲んでいます（写真上）。中からは、緑色や赤色の細形管玉（ほそがたくだたま）が、70点以上出土しています（写真左）。被葬者の首飾りと考えられ、ひとつの墓から出土した細形管玉としては、県内最多です。墓の規模も大きく、集団の有力な立場の人が埋葬されていたのではないかと推測されます。



# 大型墓を中心に並ぶ礫床木棺墓群



大型の1号墓のまわりを、長さ1.5m、幅0.6mほどの大きさの礫床木棺墓が、囲むように並んでいます。中には子どもの墓と考えられる小さな墓もあります。このように配置された礫床木棺墓群は他に例がなく、大型の墓に葬られた有力な人物を頂点にする集団や一族の墓地の可能性もあります（写真上：西から撮影）。

南北700mにわたった発掘調査範囲からは、南側で水田域・青銅器埋納坑、中央で礫床木棺墓群、北側では居住域が見つかっています（写真左）。今年度で発掘調査は終了しましたが、これから整理作業をとおして、当時の人々がどのような生活を営み、どのように銅戈・銅鐸とかかわっていたのかなど考えていきたいと思えます。



写真撮影前の清掃作業



礫の間の土を掘る

調査区全景（南から撮影）



# 新たな銅鐸の発見

今年度、新たに銅鐸片を39点発見し、文様等から5個の銅鐸を確認しました。今回は状態の良い1号銅鐸と2号銅鐸を紹介します。

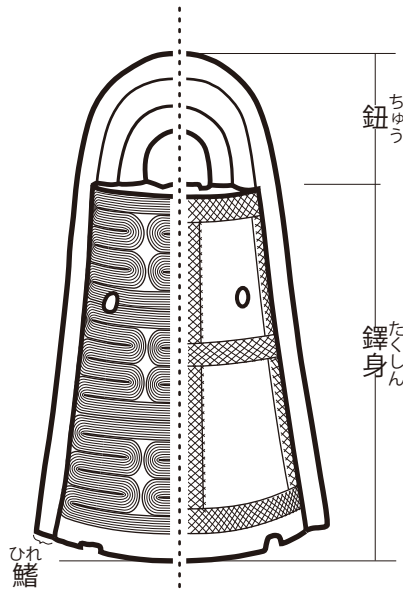
## 1号 流水文銅鐸 (りゅうすいもんどうたく)



## 2号 袈裟襷文銅鐸 (けさだすきもんどうたく)



銅鐸模式図



流水文

袈裟襷文



1号銅鐸の文様：水が流れるような抽象的な文様が流水文です。部分的に模様途切れることが確認でき、古い銅鐸の特徴をもっています。鈕にはVの字を密に縦に並べてスギの葉状にみえる綾杉文（あやすぎもん）、鱗には三角形が連なる鋸歯文（きよしもん）があります。銅鐸の内側はよく擦れていて、鐘のように鳴らす棒があたっていたと考えられます。

2号銅鐸の文様：鐸身の中央で斜格子文（しゃこうしもん）の縦の帯と横の帯が十文字に交差する袈裟襷文です。この帯によって表面は四区画に分けられているのが特徴です。鱗には渦巻（うずまき）が連続している渦巻文（うずまきもん）がみえます。鐸身の下の縁（ふち）には渦巻の一端がまっすぐのびる蕨手文（わらびてもん）が確認できます。



# 戦国時代の山城

しもむら うぐいすがじょうせき  
下村遺跡（鶯ヶ城跡） 飯田市



鶯ヶ城は、天竜川以東を支配した知久（ちく）氏の本城である神之峯（かんのみね）城の出城とされています。武田信玄の攻撃で、本城が天文23年（1554年）に落城した時に廃城となったという伝承のある城です。

調査では、城兵がこもる曲輪（くるわ）という平坦地と、城を守るために築いた人工の崖や堀（ほり）が見つかり、戦いに備えた城の姿が明らかとなりました。

来年度は、いよいよ城主がこもった城の中心部を調査します。

# 南佐久で初の大規模発掘調査

こやまてらくぼ  
小山寺窪遺跡 佐久穂町



千曲川左岸の丘陵地にある小山寺窪遺跡は、中部横断自動車道路建設によって発掘調査されることになりました。

今年度は、10月より3カ月間で4,200m<sup>2</sup>を調査しました。来年度は、約4倍の面積に当たる15,840m<sup>2</sup>を調査する予定です。

今年度の調査では、縄文時代の穴や平安時代の住居跡、さらに中世から近世にかけての建物や水田の跡、杭や柵の跡と思われるたくさんの小さな穴が確認されました。周辺には、五輪塔群もあるため、来年度の調査が期待されます。

## INFORMATION

### 速報展「長野県の遺跡発掘2009」

平成20年度に当センターが発掘調査した成果を下記の会場で展示・公開いたします。

#### 長野県歴史館

期間：平成21年6月20日（土）～7月20日（月）

（休館日：日・祝祭日の翌日）

#### 伊那文化会館

期間：平成21年7月30日（木）～8月23日（日）

（休館日：日・祝祭日の翌日）

## 野 帳

昨年に引き続き、今年度も柳沢遺跡では大きな発見があり、柳沢遺跡を中心にお伝えしました。また、ほかの遺跡からも多くの成果が上がってきています。6月からの速報展でご覧いただけるように、現在も整理作業が続いています。

財団法人 長野県文化振興事業団  
長野県埋蔵文化財センター  
〒388-8007 長野市篠ノ井布施高田963-4  
TEL 026-293-5926 FAX 026-293-8157  
E-mail maibun@grn.janis.or.jp  
HP <http://www.grn.janis.or.jp/~maibun/>